

会 報

公認会計士三田会

目 次

| | | |
|---------------------------------|---------|---|
| 1. 匆忙五十年 | 三 枝 英 訓 | 1 |
| 2. 三枝英訓先生のご紹介 | 西 野 清 | 2 |
| 3. 同級生森君との訣別 | 中 村 忠 | 3 |
| 4. 「帳合之法」と福沢門下の簿記指導者達 | 丸 山 邦 彦 | 4 |
| 5. タイ紀行 | 加 藤 晶 春 | 5 |
| 6. スポーツを考える | 松 原 章 隆 | 6 |
| 7. 公認会計士三田会の有資格者の現況 (55年6月末) | 西 野 清 | 8 |

匆 忙 五 十 年

昭4経済 三 枝 英 訓

本年4月の天皇誕生日に、勲五等瑞宝章授与と云う私に取っては破格の榮譽に浴したが、日本公認会計士協会並びに同東京会より、夫々後世に残る記念品を頂戴し併せて感激している。私は昭和4年3月経済学部を卒業し、直ちに帰郷して家業の農林業を受け継いだ。

友は皆な夫々職に就いて新天地に向って散ってゆき、自分だけ平凡な人生を送るのかと淋しい思いが無いでもなかったが余り気に留めなかった。と云うのは、実は私は昭和3年3月卒業すべきだったのが、本科1年を殆んど病院生活に過ごし留年の余儀なきに至っていた。

それで、友人の多くは予科時代に出来ていたの、なんとなく仲間に馴染めなかったのが原因であったかも知れない。

私の故郷は古来政争の激しい土地柄で、政友、民政に二分されて居り、又小作争議の勃発を続て無産運動の芽も生れ始めていた。

新智議の持主と云う関係から、必然的に土地の青年に人気があり推されて昭和6年10月の県議戦に出馬し当選した。

任期中は県道を国道に偏入する基礎作りやら、母校日川高校の改築問題やらで家業を顧るいとまはなかった。

若さが認められて、翌年4月県下で一番若い裁判所調停委員に任命され、小作争議の調停をする事になった。私は、社会の不平等に対する反発の激しさを初めて知った。そしていつかは平等の世界が必ず来ると信じた。1年間労働の結果得た収穫物の大部分を地主に持って行かれる小作人のノ

三枝英訓先生のご紹介

三枝英訓先生には、昭和55年5月13日に、調停委員としての永年の功勞により、最高裁判所長官より勲五等瑞宝章の伝達を受け、皇居に参上、天皇に拝謁し、有難き御言葉を賜われました。

先生は明治34年5月5日生れ、79才になられ、昭和4年3月慶応義塾大学経済学部を卒業されました。公認会計士三田会の有資格者数は現在310名になりますが、大正年代の卒業生4名に続き、昭和一桁代の卒業生は14名、70才台の先生は12名に過ぎません。このため、先生が卒業された昭和4年組が特に目立ち、同期生には高森荒男・福島富士一郎・大橋捷一の3先生がおられます。先生は昭和5年に計理士を登録、昭和35年に税理士を登録、しかる後、公認会計士特例試験に合格、昭和42年3月31日付で公認会計士の登録をされました。その登録番号は3429であります。

先生はまた、昭和30年より42年に至る間、三枝木材株式会社代表取締役をも勤められました。

先生は日本公認会計士協会東京会役員として昭和52年に山梨地区会から選出され、引続いて昭和54年の改選期にも連続当選されました。

業界の大先輩として現在東京会の業務部幹事の職に就任しておられ、その今後の御活躍が大いに期待されています。以上簡単ですがご紹介させて頂きました。最後に先生の御健勝、御多幸を衷心より祈念しつつ、筆を措きます。 (世話人 西野 清 記)

ノ苦しみが胸を打った。

調停委員は困る者の味方であり、男として最もやり甲斐があり、生涯を通じてやり通す仕事の一つであるとかたく信じた。

然かし此の仕事は裁判所より任命されねばならない、その条件として、良心に恥じざる行為行動を旨とし、調停裁判指定の日には必ず出廷すること、調停に当っては申立人相手方双方の立場を理解し、中立を貫くこと、が必然的に要請される。爾来45年間停年に至る迄、務め上げ、その間、県調停協会会長、日本調停協会理事の要職を歴任した。叙勲は此の事が認められたものと思う。

さて私と会計士業との出会いについて語らなければならない。

私はなんの目的もなく、何んの理想もなしに塾に入り、塾生となったのである。私は旧中学校に往復6里の道を通学出来る様な頑健な体の持主と山国育ちの故もあって、在学中より海に憧れ、海軍士官になる夢をもっていた。大正9年私の卒業当時は、軍縮の最中で軍人の子弟でも仲々入学出来ない時代であった事もあるが、何にせ天下の秀才の集まる海軍兵学校の壁は厚かった。

もう他の学校に行く予定もなく、家業に従事するには早すぎるし、どうしたら良いかと遊んで居る内何人となしに受験して塾の経済学部予科に入学した次第だ。

当時、経済学部は甲と乙に別れ、甲は理論経済学、乙は主として実務に役立つ経済学を研究したと思うが、私は乙に属していたため、卒業時計理士の登録を忘れなかった。此の事が私を今日の職業に就く基礎となったのである。

私は家業の農林業の内、林業を分離して法人組織にしたのは昭和31年11月だが、法人税で人様の厄介になるのはどうかと考へ、34年には特別税理士試験に合格、税理士となった。又昭和42年最後の公認会計士特例試験にも合格したが、是れは卒業以来たとえ地方に居っても經理の学問を捨てな

った賜と思う。

実務の経験の乏しい偏頗な税理士、公認会計士が生まれた訳だが、塾員橋本祐次先生の事務所で短期間御指導に預った以外は、独力で、恥かしい思いをしながら、実務に携ったお蔭で、もう13年間、一通りの仕事と体験を持たせて貰い、そして現在も第一線で働いている。

色々と仕事のお話も承るが、受験時代心に誓った通り、此の仕事を死ぬまでやり遂げようと考え毎日楽しく働いている此の頃である。

福沢先生曰く「世の中で一番楽しく立派な事は

一生涯を貫く仕事をもつ事です」と、終り。

追記—

先般同僚西野清君より三田会中村会長の伝言として、今般の叙勲に関し感想文を会報に載せる様との連絡があった。私は元来自己を語るを好まないが、幹事として日頃東京会々長の指導下にあり、その会長よりの要請とあらば無下にお断りも出来ない、不得手を承知で一文を草した次第である。

感想文としての体をなしていないと思うが御諒承に預り度い。

同級生森君との訣別

昭18経済 中 村 忠

私の知人に「K」という元海軍中將がいた。森君と私が同級生であり、同じ公認会計士であるということから、K氏の口から、ラバウルにおける森茂海軍中尉の逸話を聞いたことがある。

「森中尉はすこぶる気の廻る人で、副官としては最も有能、中でも物資蒐集能力は抜群、そんなにまでする必要とない叱ったことがある程、トイレットペーパーから、ウイスキー、にわとりまで集めてきた」と。

育ちの良さのせい、か、体質的に欲を表面に出さない学生時代からの森君を知っている私にはどうしてもこの話が納得出来なかったもので、ついでああったときに森君に聞いてみたら「欲しいことは欲しいが、体面上口に出して言えない人のために、少々気を廻してやったに過ぎない、おこるどころか眼を細めて、喜こんでいたよ」と言っていた。

兵隊になっても、彼の育ちの良さと気の良さがついて廻っていた。

昭和53年の暮れに、久し振りに森君から、電話を貰った。東京会の選挙は実質的に始まっていた。

森君の所属している事務所の中には私と反対の立場だった方もいたので、これは困ったことになったと思い、一度ならず御断りしたが、再三の申入れで結局、お目にかかった。

その時彼が言ったことは、彼の事務所の中には私に反対のものばかりではない、さらには、森重栄君のことを頼む、ということだけに話が終始した。

◇ ◇

4月8日の朝、森重さんから電話があった。「森先生が亡くなられたのです」余りにも突然の訃報、驚くよりも、あっけにとられた。そして死の原因が分るにつれて、森君の育ちの良さから来るナイーブな精神状態を思い、ただ深い悲しみが残った。

三田会の会報で、森さんと私の縁の深さについて述べたことがある。

歴史を語るとき、もしも、あの時、という前提はないものとされているが、敢えて、私に森茂君という同級者がいなかったならば、そして、下谷公会堂へ青色申告の講師として、彼が来なかった

ならば、私は公認会計士にはならなかったかもしれない。



昭和55年。この年は何という年だろう。私の敬愛する貴重な友人を3人も立て続けに喪った。その中の1人、森茂君。君はもういない。

劉廷芝の曰く。

「今年花落ちて顔色改たまり

明年花開くとき復た誰れかゝる。

年々才々花相似たり、

才々年々人同じからず。」

何と言おうと、悲しみは跡をたたない。

「帳合之法」と福沢門下の簿記指導者達

昭44経済 丸山邦彦

ここに1冊の復刻本がある。木版刷、半紙判の和とじ本4冊を1冊に合本したものである。昭和54年に雄松堂書店から復刻された福沢先生の「帳合之法」がそれである。

「帳合之法」は明治6年6月にまず初編（単式簿記）2冊が、翌7年6月に2編（複式簿記）2冊が出版された。周知のように、わが国最初の簿記書である。原書はアメリカのH. B. プライヤントとH. D. ストラットンの共著「Common School Book-Keeping」1871年版である。「帳合之法」はその全訳ではなく、帳簿組織論の部分が省略されている。本書が出版された明治6年は、アラン・シャンドの「銀行簿記精法」等が刊行された年でもあり、わが国企業会計制度近代化の出発点とされている。

「帳合之法」を広げると巻頭に凡例があり、冒頭この書を翻訳するに至った趣旨が述べられている。洋学を実学として認識し、簿記を学ぶべき理由を説いているが、その文章は甚だ流暢であり、今読んでも誠に興味深い。

これについて、黒沢清博氏は「帳合之法」を「学問のすすめ」の応用編とみて、次のように評価している。「帳合之法」は、単に簿記の技術を教えるために書かれたというよりは、近代企業家精神を鼓吹するために書かれたものである。

Institutional Leaderとしての企業家の精神は、

……複式簿記によってシンボライズされているものと考えることができる。福沢は、そのことを明らかにするために、「帳合之法」を著述したのである。（「近代簿記会計の誕生」青木茂男編「日本会計発達史」同友館、昭和51年収録）

また小島男佐夫教授の批評はこうである。「帳合之法」の真の価値は、……封建制度の打倒、鎖国主義の社会から新しい資本主義経済社会への解放・進歩への、生々しい息吹きが、そこに見出されることにある。……このような福沢翁の、実学をすすめる啓蒙精神は、伊太利のルネッサンス期、パチョーリの「ズムマ」の裡に燃える精神と全く軌を一にするものであろう。（「簿記史」森山書店、昭和48年）

わが国は明治5年に学制を頒布して小・中学校、師範学校で簿記を教えることになり、初めは「帳合之法」がただ一つの教科書として用いられた。代価は4冊で1円30銭、当時としては高価であったがよく売れ、明治20年頃まで増刷が続けられたようである。

しかし福沢先生は後に、書物は売れたけれども、実地に用いて帳面を改革したる者は少なし、落胆せざるを得ず、と述懐している。というのも、商家には家伝の帳合があって、簿記の採用を妨げていたからである。

そのため福沢先生は簿記教育、教師および人材

派遣、研究奨励・援助等さまざまな努力をし、簿記の普及をはかった。明治6年から改正商法制定の明治32年頃までは、多数の簿記書が出版されたわが国会計史におけるいわば簿記時代であるが、その訳著者には福沢門下生がきわだって多い。彼らの中には直接先生から簿記を学んだのではない者も多いが、彼らが簿記に関心を持ったのはやはり「帳合之法」の影響であろう。

この辺の事情は、西川孝治郎氏の「日本簿記史談」（同文館、昭和46年）等に詳しいが、そのうちいくつかの例を紹介しておこう。

前に述べたアラン・シャンドの「銀行簿記精法」を翻訳した5人の大蔵官員のうち、小林雄七郎、宇佐川秀次郎、丹吉人の3人は慶応義塾の出身者である。

また学制制定後、文部省教科書として刊行された「馬耳蘇氏記簿法」（明治8年）等の訳者小林儀秀も塾の出身である。

明治11年に設立された神戸商業講習所は、簿記に非常に力を入れた学校だが、校長甲斐織衛以下教師は慶応義塾から派遣された。同年開校の三菱商業学校も校長森下岩楠のほか教員を慶応に求めた。簿記教師森島修太郎らである。兩人合著に「簿記学階梯」（明治11年）がある。

明治12年竹田等は福沢先生の勧めにより、京橋に簿記講習所を開設した。彼は「商用簿記学」（明治15年）を著わしている。

森下、森島、竹田の3名は、特殊仕訳帳等省略部分を追加し、「帳合之法」の事実上の補足改訂を行なった。彼らの著書は、明治30年以後まで出版が続き、永くわが国簿記書に重要な影響を与えたという。

こうしてみると、福沢先生および慶応義塾出身者の明治期における簿記の普及・発達に及ぼした影響がいかに大きかったか、うかがい知ることができよう。

タイ紀行

昭49商 加藤晶春

1週間の休暇をタイのパタヤビーチで過ごし、真黒な顔を披露に事務所に出席した早々、この原稿書が待っていました。休養により完全に開放された現下の心境で、山積する国内の経済問題や公認会計士制度について論述する気は全く起こらないため、やむなく今度の旅行について思いつくまま書くことにします。

タイで休暇を過ごすのは今回で3度目ですが、2年前の前回と比べ物価が騰貴しているのには驚かされます。とくにホテル代の高騰はすさまじいもので平均70%のアップです。これは第三次オイルショックが、資源を持たない後進国にとくに深刻な影響を与えたことでもあります。もう一つは外国人観光客への消費税が従来の8.25%から倍の

16.5%へ増税されたためです。現在のタイは、強大なベトナム機甲師団にいらまれたカエルのようなもので、これに対抗すべくアメリカより武器、弾薬の緊急輸入を行なっていますが、観光以外にめぼしい産業と外貨獲得手段を持たないタイにとって、この増税はやむをえないところでは。かくして、私達もソ連の傀儡たるベトナム帝国主義の侵略から自由主義インドシナを防衛するための一助としてお役に立てたわけです。

バンコクからバスで2時間のパタヤビーチ・リゾートは、全ヨーロッパ人のあこがれの的、とくにヨーロッパ独身男性及び精力絶倫中年男性のメッカです。実際タイ女性のプロポーションの良さ

とくに脚線美の美しさは世界に冠たるものがあります。従ってドイツ人、フランス人、オランダ人が、小柄なタイ女性を連れてホテルや町を闊歩するのが、ここでは常識なのですが、今回はこれにU. S. NAVYが加わりました。私達がパタヤに入った翌日にアメリカ海軍のミサイル駆逐艦が入港してきたのです。世界有数のリゾートに急に軍艦が入港してきたので、いよいよこれはベトナムの本格的タイ侵攻かと心配したのですが、その日の夜には、約200人のU. S. NAVYがパタヤの下町、通称“ザ・ビレッジ”に繰り込んで盛大にドンチャカ騒ぎを繰り広げはじめました。

オフシーズンのはずの7月末でさえ各ホテル共に満室だったパタヤにU. S. NAVYが加わったのですから、その騒ぎは全盛時の沖縄か横須賀のドブ板横丁かというありさまでした。実際このミサイル駆逐艦は、横須賀から演習に来た船で、私達も水兵達と日本語と英語のチャンポンで大いに盛り上りました。

要するに相当の国際情勢の緊張はあるものの、現下は平和であり、大いに楽しむべきだということでした。

5日間の昼夜兼行のお祭りを無事終え、バンコクへのバスの車中で、娘連れの中年スイス女性と同席し話し合いました。夫君はスイス航空のパイロットで、彼女は3ヶ月前にスキーで足を骨折し療養中の身だそうです。本来は自宅にいるべきところが、今年のヨーロッパの気候は近年まれにみる悪天候で、毎日雨が降り続く寒い夏のため、暖

い所に行く必要があると主治医にすすめられ来たとのことです。フランス語圏の女性には珍しく堪能な英語を話します。尋ねれば彼女が若かりし頃ケンブリッジ大学で学んだそうです。彼女に尋ねられ、私は日本の慶応大学の出身だと答えたら、彼女はKEIOなら知っています、それは日本のケンブリッジですねと言ってくれました。なかなかのスイートマウスです。そんな彼女も、彼女の同邦並びに同人種達が目の色を変えてタイ娘の尻を追いかけまわしている点については、大変な嫌悪を示していました。彼女の11才の娘は、深刻な精神的ダメージを受けたそうです。話しが戦争のこととなると、彼女は今後5年以内に第三次世界大戦が起り水爆により死滅する危険性が非常に高いこと、及びスイスでは法律により、新築住宅には必ずシェルターを造ることを義務づけられており、彼女も立派なシェルターを持っていることを話してくれました。私が日本人にはそのうえに恐しい地震もあり、そのいずれにも何ら組織的防衛策を持っていないことを話すと、彼女は日本人とはいかに無謀でかつ勇敢な人種であり、これに比べれば自分と娘がいかに恵まれているかを神に感謝したようでした。

会計原則も大事ですが、命あっての、かつ、企業あっての企業会計です。我々塾員も仕事だけでなく、自分と家族と友人がサバイバルとなるように自愛すべきではないでしょうか。

スポーツを考える

昭41商 松原章隆

「ぐりーん・さろん」という日本経済新聞に長らく連載されている読み物がある。日経読者のゴルフ好きとあいまって、大変評判がよろしいので

あるが、私は時折その内容に不快を覚えることがある。それはゴルフというスポーツ（又はゲーム）に対する「精神」の及ぼす影響を少し過大に取扱

っているのではないかということである。もちろんこの点は読者の知的レベルに迎合しようとする筆者の作戦の一つでもあろうと思う。

一般的にはゴルフはメンタルなスポーツであると考えらるむきが多いように思う。しかし、数あるスポーツのうちで格別ゴルフがメンタルなものに左右されるとは思えないし、したがってこの面を強調するのもおかしい。

私がスポーツ全般を考えると、まず頭に浮ぶのは、厳しいトレーニングに基礎をおく技術の力と、もう一つは運である。精神力つまり、齒をくいしばって……といった次元にスポーツはないということである。よく、根性で頑張るなどという人がいるが、どこか頭がおかしいのではないかとすら感じる。

「運」という、如何ともしがたい要素を除けば、科学的に洗練されたトレーニングとそこから導びき出される技術のみによってスポーツは成り立ち得るのに、昔から日本人はどうしてもそこに精神というものを吹き込まなければ、我慢が出来なかつたらしい。その例が、柔道、剣道にみられる「道」という呼称である。そこには、本来、技術力という段階で終るべきものを、徒らに精神教育の場まで押し揚げて、そこで本来の姿とは別のものを愉しむといった風情がないでもない。

スポーツとは本来、遊ぶ心で楽しむものであり、その由来からして日本人になじめないものであることは明らかである。前言を翻していうなら、柔

道などはその本来の趣旨を貫くとするならスポーツではあり得まい。欧米の人々に、日本流のスポーツについての考え方を説明したら、怪訝な顔をされると思う。

スポーツマンと呼ばれる人達がいる。もし、スポーツの上達に高い人格と精神力とが要求されるならば、立派なスポーツマンはこれらを具備していなければならないことになる。ところがどうであろう。現実にはむしろ逆ではないか。一流選手には頭のカラッポな人が多い。つまり、それがスポーツなのである。スポーツは肉体の訓練のみに依存しているのである。

ところで私のスポーツであるが、学生時代はゴルフに精を出し、また、ここ10年程はヨットに熱をあげている。この異質とも思える2つのスポーツを並べてみると、一つの共通点があることに気付く。スポーツというものの目的は相手に勝つということであるが、これらは直接なりと間接なりと相手に手を出さずに、すべて自己完結のかたちを以って勝利できるという点である。いま大流行のテニスに浮かれているお嬢さん方に私はよく云うのであるが、テニスは相手の嫌がるところに球を打返せば勝つというゲームですけれど、あなたはそんなに意地悪な気持をお持ちですか……。選ばれたスポーツは、まさにそれを楽しむ人の性格を代弁するものです。



公認会計士三田会の有資格者の現況

昭22経済 西野 清

I 昭和55年6月末日現在に於ける公認会計士の現況は協会資料によると次の如くである。

(1) 公認会計士有資格者数

| 試験別 | 合格者数 | 死去数等 | 現在数 |
|--------|-------|------|-------|
| ① 3次試験 | 4,423 | 297 | 4,126 |
| ② 特別試験 | 1,042 | 273 | 769 |
| ③ 特例試験 | 1,204 | 147 | 1,057 |
| 合計 | 6,669 | 717 | 5,952 |

(2) 会計士補有資格者数

| | | |
|--------------|-------|--------|
| ① 2次試験合格者総数 | 7,078 | (会計士補) |
| ② 2次→3次合格者外 | 4,313 | |
| ③ 2次試験合格者現在数 | 2,765 | (会計士補) |

(3) 日本公認会計士協会登録者数

| | |
|---------------|---------|
| ① 公認会計士有資格者総数 | 5,952 |
| 未登録者数等外 | (-) 98 |
| 公認会計士登録者現在数 | 5,854 |
| ② 会計士補有資格者現在数 | 2,765 |
| 未登録者数等外 | (-) 471 |
| 会計士補登録者現在数 | 2,294 |
| ③ 監査法人登録現在数 | 60 |
| 監査法人内の公認会計士総数 | 1,957 |

II 慶応義塾出身者数の現況の推移

↑ 公認会計士、会計士補の登録者総数は前述の如くその全国総数は8,148名に及んでいるが、この中において我々、慶応義塾出身者の現況は協会資料に依ると次の如く644名に達した。

(1) 慶応義塾出身者の内訳表

| 資格別 | 全国数 | 慶応義塾出身数 | % |
|------------|-------|---------|-------|
| ① 公認会計士登録数 | 5,854 | 360 | 6.2% |
| ② 会計士補登録数 | 2,294 | 284 | 12.4% |
| 合計数 | 8,148 | 644 | 7.9% |

公認会計士は前回報告に比し、30名が新たに登録手続を完了し増加している。尚、森茂氏が逝去されたので実質では29名の増加（前回報告331名）となっている。✓

(2) 慶応義塾出身の公認会計士の新人一覧

| 氏名 | 学部 | 年度 | 登録No | 氏名 | 学部 | 年度 | 登録No |
|---------|----|----|------|---------|----|----|------|
| 中 瀬 雅 通 | 経 | 47 | 6415 | 広 田 哲 治 | 経 | 51 | 6457 |
| 安 田 荘 助 | 経 | 43 | 6436 | 山 田 辰 己 | 商 | 51 | 6460 |
| 小見山 満 | 経 | 52 | 6438 | 杉 山 隆 成 | 法 | 47 | 6461 |
| 風 間 徹 | 商 | 46 | 6440 | 小 島 秀 雄 | 経 | 47 | 6462 |
| 辰 己 正 | 商 | 47 | 6441 | 横 倉 光 男 | 経 | 44 | 6465 |
| 奥 田 基 樹 | 経 | 48 | 6444 | 田 村 浩 三 | 経 | 44 | 6471 |
| 吉 川 正 幸 | 商 | 47 | 6455 | 林 秀 市 郎 | 商 | 46 | 6474 |
| 吉 田 真 次 | 法 | 44 | 6456 | 伊 藤 通 夫 | 商 | 48 | 6506 |

| 氏名 | 学部 | 年度 | 登録No. | 氏名 | 学部 | 年度 | 登録No. |
|------|----|----|-------|--------|-----|-----|-------|
| 小森幹夫 | 商 | 50 | 6526 | (大学院) | | | |
| 雁丸昭 | 経 | 38 | 6534 | 湯本堅司 | 商 | 50 | 6158 |
| 大橋秀夫 | 商 | 50 | 6540 | 細井和昭 | 商 | 47 | 6293 |
| 杉山雅洋 | 商 | 50 | 6560 | 本多潤一 | 商 | 49 | 6447 |
| 宇梶勝康 | 経 | 47 | 6563 | 中山幸夫 | 商 | 52 | 6548 |
| 井上芳治 | 経 | 42 | 6588 | 山本明 | 経 | 49 | 6549 |
| 篠原俊 | 経 | 52 | 6596 | (通信課程) | | | |
| 石黒輝夫 | 経 | 44 | 6608 | 小橋政彦 | 経 | 在学中 | 6627 |
| | | | | 以上 | 増加数 | | 30名 |

(3) 慶応義塾出身の公認会計士登録順一覧

| 登録番号 | 人数 | 累計 | 登録番号 | 人数 | 累計 |
|-------------|----|-----|-------------|----|-----|
| 1 - 500 | 11 | 11 | 4001 - 4500 | 28 | 130 |
| 501 - 1000 | 10 | 21 | 4501 - 5000 | 34 | 164 |
| 1001 - 1500 | 14 | 35 | 5001 - 5500 | 53 | 217 |
| 1501 - 2000 | 14 | 49 | 5501 - 6000 | 61 | 278 |
| 2001 - 2500 | 17 | 66 | 6001 - 6500 | 70 | 348 |
| 2501 - 3000 | 19 | 85 | 6501 - 6627 | 12 | 360 |
| 3001 - 3500 | 10 | 95 | 総合計人数 | | 360 |
| 3501 - 4000 | 7 | 102 | | | |

上記一覧が示す如く、公認会計士の登録番号で5000番台以降が196名もおり（前年比30名

増）、全体数の54.4%（半数以上）を占めるに到っている。

(4) 公認会計士三田会加入区分一覧

| ① 公認会計士関係 | | ② 会計士補関係 | |
|--------------------|-----|----------------|-----|
| ① 東京会所属公認会計士数 | 301 | ① 三田会加入・東京会所属数 | 73 |
| ② 東京会以外（地方会）所属会計士数 | 59 | ② 三田会加入・地方会所属数 | 5 |
| 合計数 | 360 | ③ 三田会未加入・会計士補数 | 206 |
| ③ 三田会加入・東京会所属数 | 162 | 合計数 | 284 |
| ④ 三田会加入・地方会所属数 | 29 | | |
| 合計数 | 191 | | |
| ⑤ 三田会未加入・東京会所属数 | 139 | | |
| ⑥ 三田会未加入・地方会所属数 | 30 | | |
| 合計数 | 169 | | |

会計士補の前回報告数 268 名の内、27 名が会員へ上り、新合格者 43 名が増加し 284 名となった。

調べに依ると 284 名の内、65%弱の 184 名が監査法人、外国事務所に勤務しており、前者が 70%、後者が 30%の割合になっている。

人数別では中央 22 名、プライス 20 名、等松 16 名、

アンダーセン 14 名、ピート 12 名、新光 11 名、朝日 10 名、太田・サンワ・ハスキンス各 8 名、新和 7 名、第一・昭和各 6 名、栄光 4 名と報告されている。まだ三田会に加入していない 206 名の会計士補が一人でも多く加入されるよう、働きかけたい。

<以 上>